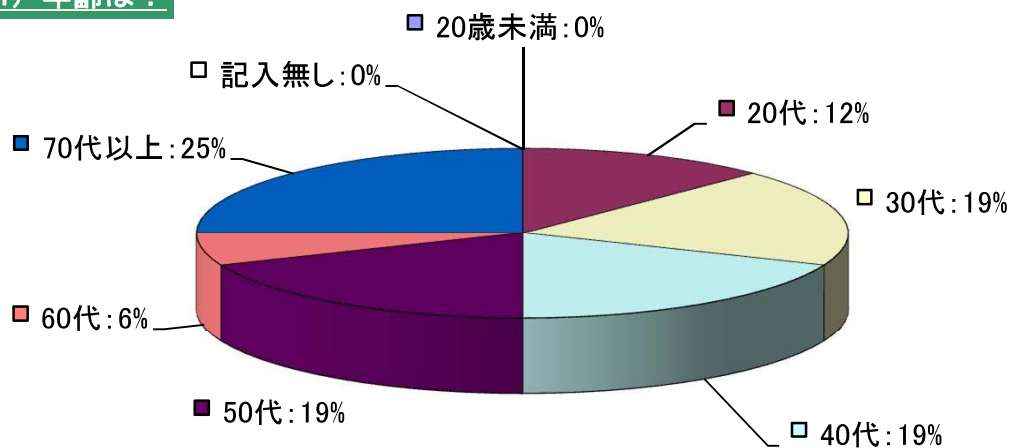


第37回 宮崎海岸市民談義所 アンケート結果

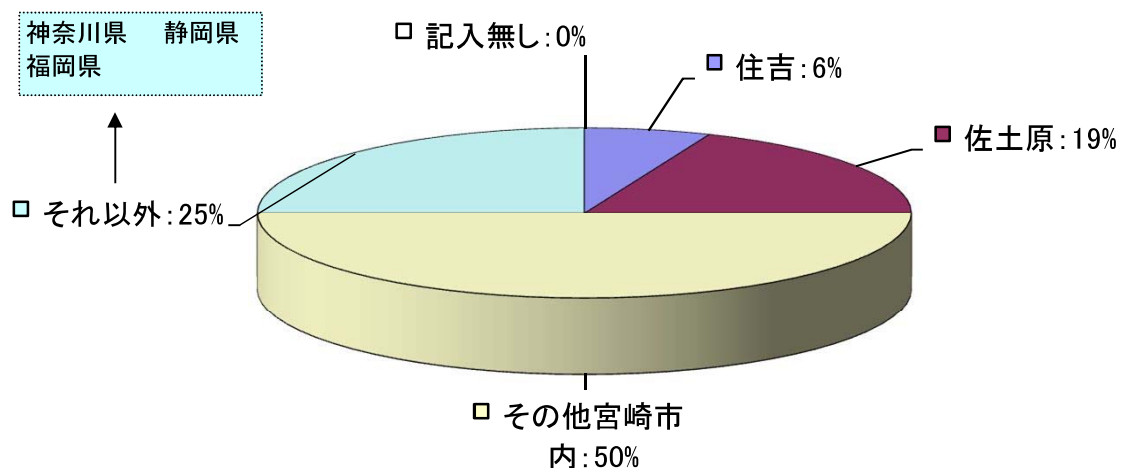
(第37回談義所: 2017年7月27日(木) 19時00分～21時00分実施、アンケート回収数: 16)

1. あなたのことについて教えてください

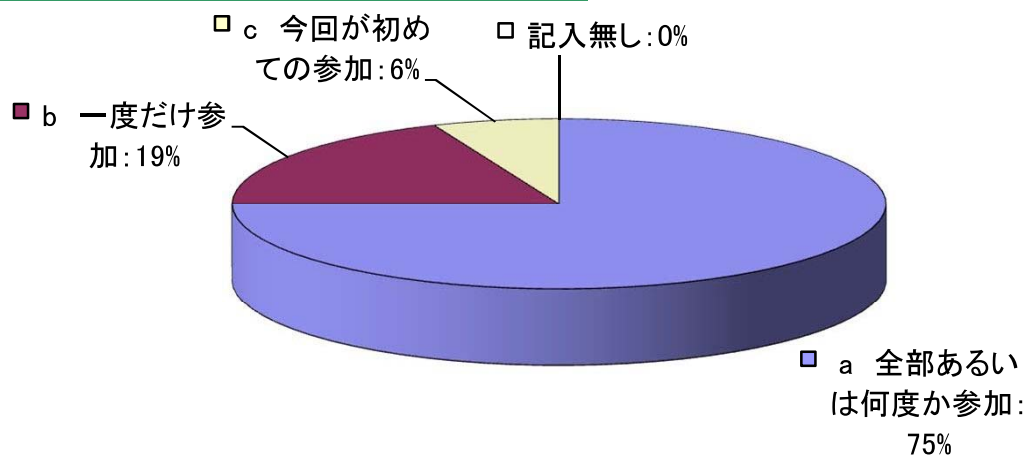
1-(1) 年齢は？



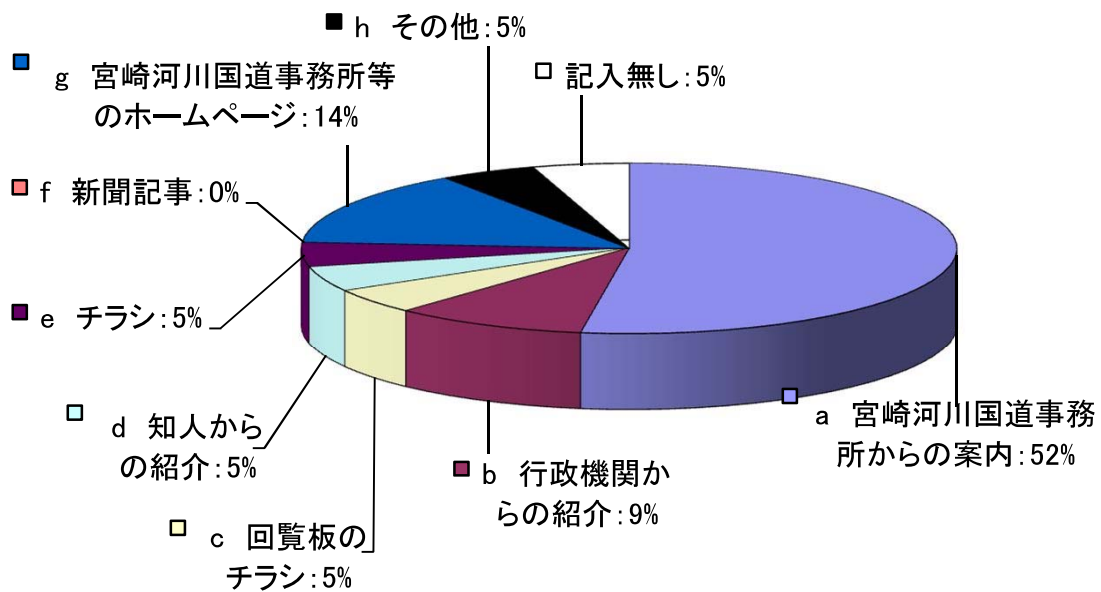
1-(2) 住んでいるところはどこですか？



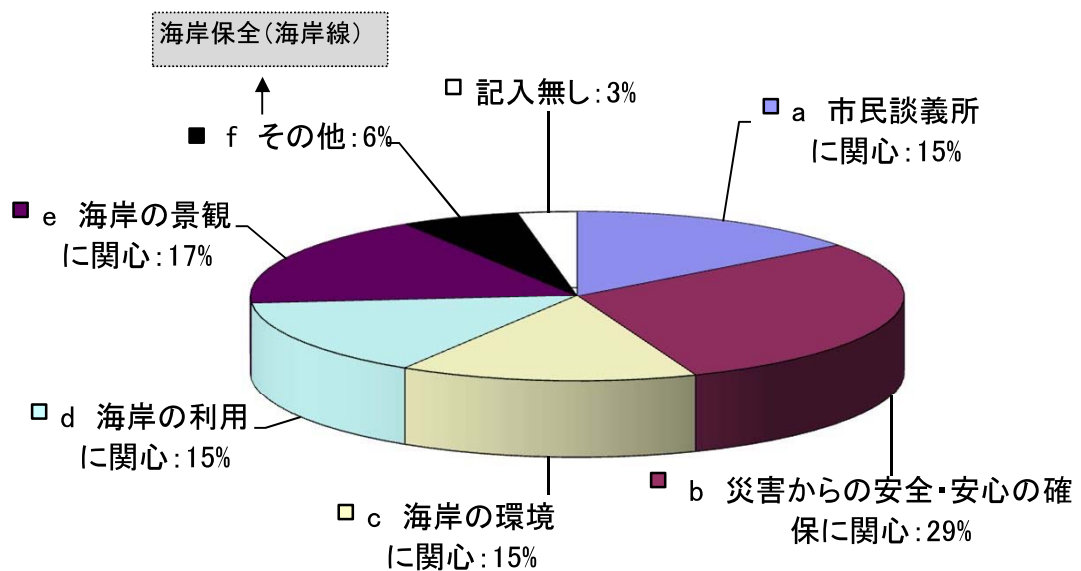
1-(3) これまでに参加したことはありますか？



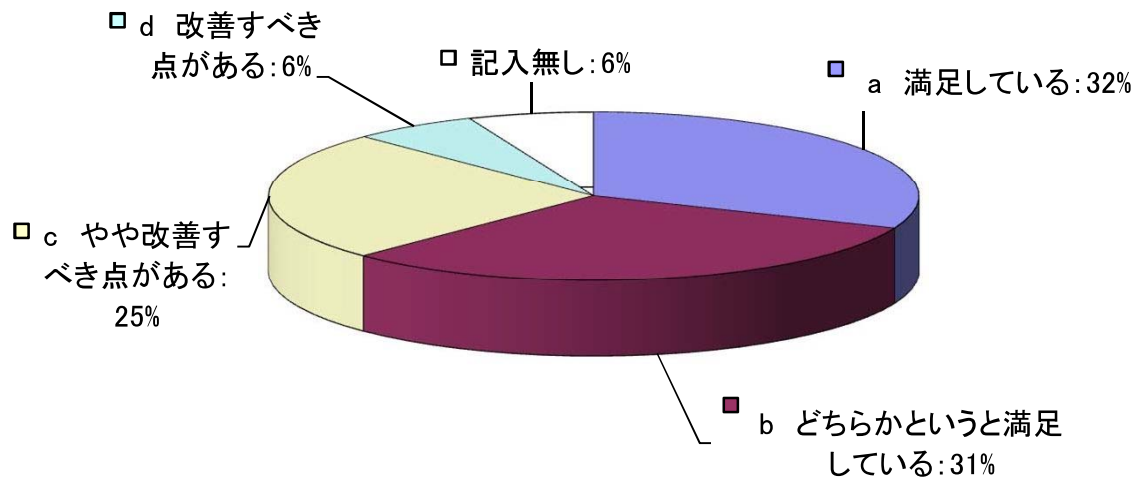
2. 市民談義所を何によって知りましたか？ (複数回答)



3. 今回参加された動機は何ですか？ (複数回答)



4. 今回の市民談義所の満足度は？ (複数回答)



a 満足している(理由)

- 現地状況、各種データを確認できた
- いろいろなデータを示してくれた

b どちらかというと満足している(理由)

- いろいろな意見があるので
- 宮崎海岸についての諸問題を更に理解できた。

c やや改善すべき点がある(提案)

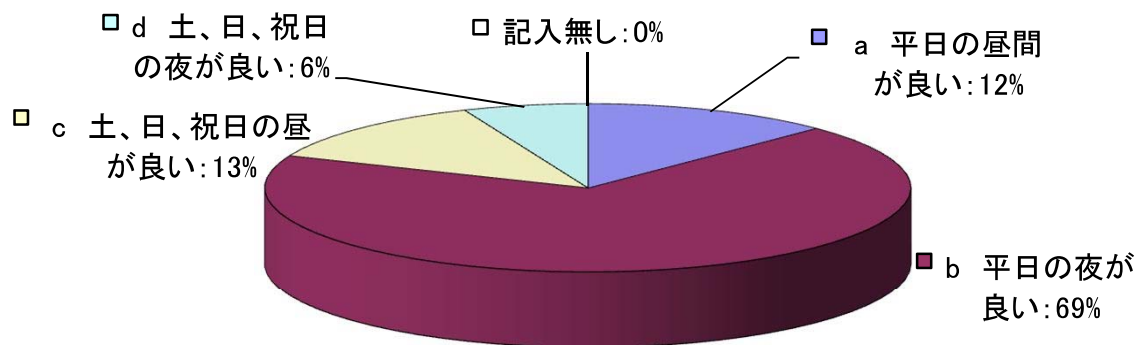
- 国交省の事業内容が市民に対してうまく伝わっていない
- 国交省の説明は十分であったが、談義の時間が短い
- 素直に意見を期待する

d やや改善すべき点がある(提案)

- 事業のスピード感

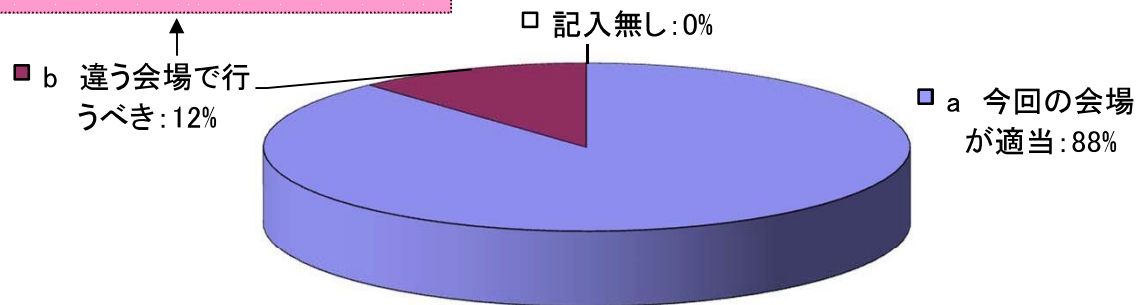
5. 市民談義所の運営に関して

5-(1) 実施する曜日と時間について (複数回答)

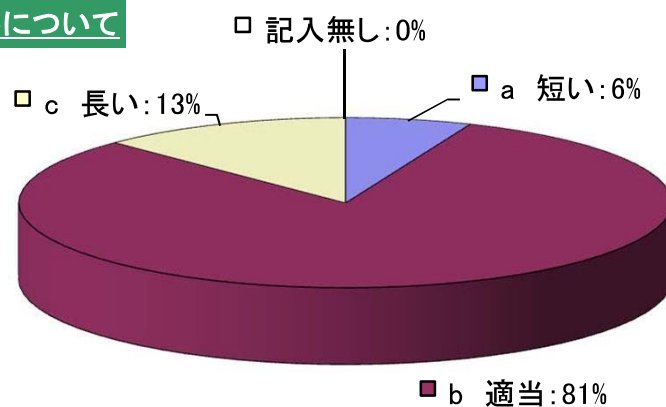


5-(2) 会場について

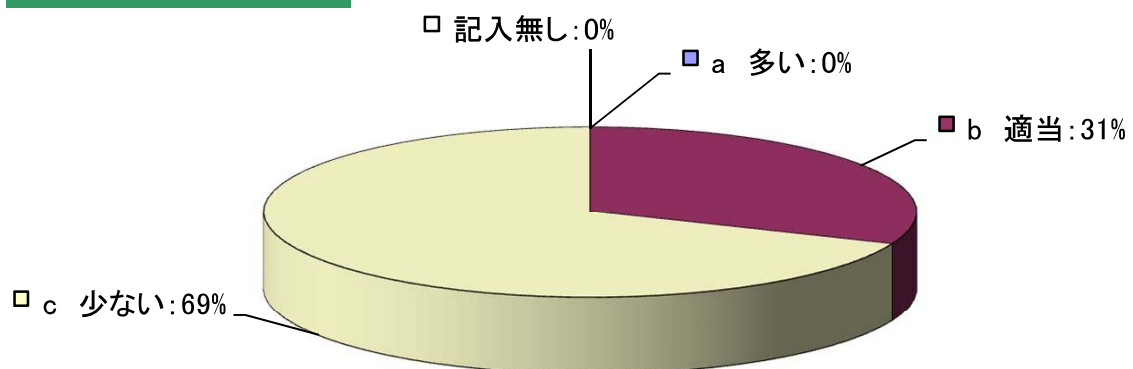
- ・毎回のよう佐土原で行われている
- ・文化センター佐土原



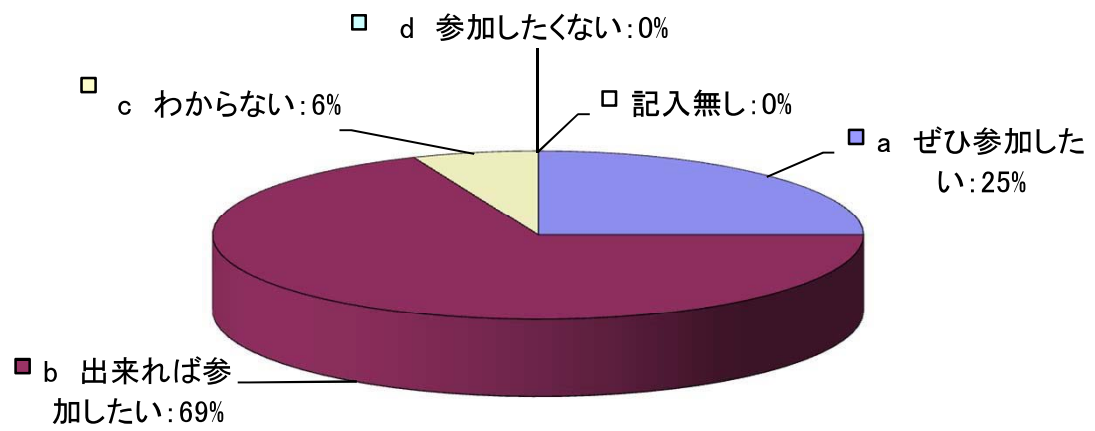
5-(3) 時間の長さについて



5-(4) 参加人数について



6. 次回、市民談義所への参加の意向



7. 次回以降の市民談義所で、談義したいテーマ等

- 台風波浪の結果について
- 突堤を段階的に工事を進めることは副作用を観察してからとの意義は十分理解できましたが、それを住民に周知できるように談義のテーマにしてもらいたい。
- 大炊田海岸のアカウミガメの産卵が回復していないとのことでしたが砂の質や砂の固さ(砂の表面を締固めすぎ)もあるのかなと思います。
- 養浜工事の写真を見た感じではBHのバケットで押さえている(整形している)ように見えます。
- 石崎川内陸部への国交省の責任度は？
- 50m復元工事開始について

※(事務局注)BHはバックホウ(建設機械の一種)の略です。

8. その他、市民談義所の進め方等についてのご意見

- WG(付箋)をやるタイミングはもう少し早くでも良かったと思いました。(結果的に後半に意見が多く出てしまったので致し方ないと思います)
- ①スピード感を持って事業を行うvs②段階的に効果・検証しながら行う(※市民としては①の方の思いが強い)
- 地元住民の方の出席を増やしてほしい。
- 今後の目標設定は変わりうるのか？
- 突堤工事の必要性を強調されるならH29年度は実施しないと遊んでいる暇は無いような気がするが如何なものか...？